

進捗状況の概要



COC+推進のための組織体制

<運営体制>

平成27年度は、産業振興と地方創生教育プログラムについて協議を可能とするため、上図のCOC+推進のための組織体制の準備と構築を行った。本事業の周知及び広報物の作成、COC+に参加する関係機関の団結式（キックオフシンポジウム）を開催するなど、熊本県における本事業への認知度向上やCOC+大学及び事業協働機関の連携を図った。熊本地方COC+推進協議会を開催し、事業計画の実施・運用に向けた協議を実施するとともに、教育プログラム開発部会を設置し、COC+参加校と地方創生教育プログラムのスキームの共有と実施へ向けた準備状況等に関する情報交換・意見交換を行い、地方創生教育プログラムの地方創生科目群等の整備・検討状況・単位互換制度構築へ向けた準備など体制の整備を進めた。さらに、企画委員会を設置し、各部会の連携組織体制を確認するとともにCOC+事業全体の連携や推進に取り組んだ。

<その他本年度の取組・進捗状況>

- ・くまもと地方産業創生センターにCOC+推進室を設置し、事業拠点の整備を行った。
- ・本事業の周知のため、熊本大学の授業や、自治体・経済団体に向け事業協働地域の複数箇所においても、事業協働機関で連携してCOC+事業の取組み説明を行った。
- ・地方創生公開講座を試行した。（地方創生公開講座 Inspire セミナー）
- ・事業協働地域の学生・教員・一般（産業界関係者等）を対象とした「地方創生カフェ」を、くまもと地方産業創生センターに設置した。
- ・農林水産業の活性化を図るため、熊本県立大学に地域活力創生センターの設置準備を進め、平成28年4月に設置することとした。
- ・熊本県内の各地域や企業等を訪問し、現地の実態やニーズを把握すると共に、共同研究や商品開発をはじめとした産学官連携に関する情報収集や意見交換を行った。
- ・首都圏大学に進学した熊本県出身学生に対するUターン就職支援について、講演会や新聞掲載記事等で周知するとともに、県内企業等を訪問し、Uターンの採用に関するニーズを調査した。
- ・専用ホームページの開設準備を進め公開するほか、COC+事業のリーフレット等を作成し、次年度の配布に向けた準備を整え、工学部には先行して、一部配布を行った。
- ・教育プログラム構築及び産学連携推進のため、COC+推進コーディネーターを各1名雇用し（1月）、学内措置で特定事業教員（産学連携推進）1名を配置した（10月）。



COC+に参加する関係機関の団結式



COC+に参加する関係機関が参加したキックオフシンポジウム

（COC+大学名：熊本大学、事業名：“オール熊本”で取り組む熊本産業創生と雇用創出のための教育プログラム）